

洞峰公園市民説明会議事録

開催日時：令和5年(2023年)7月22日(土)

開催場所：つくば市ふれあいプラザ

司会 それでは、これより質疑応答とさせていただきます。

多くの方から御意見をお伺いしたいので、大変申し訳ございませんが、質問は簡潔明瞭にお願いいたします。

また、質問内容については、個人情報を除き、後日ホームページ等で公開させていただく予定としておりますので、御了承の程、よろしくをお願いいたします。

○Aさん

今日は説明会、どうもありがとうございます。つくば市で子育てをしている者です。公園計画がなくなって本当によかったなと思っています。五十嵐市長、本当にありがとうございました。これからも市民に愛される公園、子どもたちが安全に遊べる公園、子育てしやすい環境を守る公園であってほしいと心から願っています。本日はどうもありがとうございました。ちょっとお礼を言いたかったのです。

○回答

ありがとうございます。本当に子どもたち、子ども、当事者からの声も上がっていますが、保護者の皆さんからもたくさん御意見を頂いていますので、今後も頑張っていきたいと思えます。

○Bさん

市長、今日は3回分も拝聴させていただきまして、ありがとうございました。

この2、3年の間は、社会環境、コロナで、社内、社外でもよく、なかなか疑心暗鬼になったりとか、本当の真意はどうなのだろうという先入観があったり、実際にフェイス・トゥー・フェイスで会ってみないと、ビジネスの局面が私自身もあったのですが、膝詰め談判ということまでは、実際会って、長時間いろいろ話をしていく中でわかっていくことってあると思うのです。イメージとか先入観だけで、県の人って本当にちゃんと理解できているのかなんて思っている時期も正直ありますけれども、今日は、新しくいらっしゃった方のお話をいろいろ聞いていると、やはり全て100・0はないので、双方に必ず理解できる局面があるだろうと。

先ほどの説明会するときにも私申し上げましたけれども、もう12年前に日本は人口減少社会に入って、オールジャパンで真剣に考えていかないと(いけない)、我々の子どもや孫の世代が、一流国から二流国ならい

いけれども、三流、四流、五流国になるかもしれないという危機感を私は持っています。私が去年までいた日本を代表する企業でも持っています。なので、先ほどから 1.5 億という話が出るのですが、さっき五十嵐さんもおっしゃっていましたが、無駄金だったら 1,000 円も出さないよと。まさにトヨタやソニー、キヤノンも同じですよ。必要なものなら 10 億でも 50 億でも出しますが、要らないものは 1,000 円でも絶対出さない。トヨタなんて 1 兆円の利益ですから、よっぽど緩いだろうなと思っている人がいると思いますが、どの企業も、100 分の 1 円をコストダウンするために、どれだけ真剣にやっているかという世界なのですね。P F I は、プライベート・ファイナンス・イニシアティブ、ファイナンスで、民間資本の活用じゃないのですよ。

私は、公開意見、出された皆さんにお伺いしたい。(管理は) 県でも市でもいいのですが、(活用すべきなのは) 民間資本ではなくて、民間の経営ノウハウだと思うのです。80 年代には国有・国営企業が行き詰まって、N T T しかり、J R しかり、随分と分割・民営化されて、うまくいったケースも、いかないケースもありましたが、その経営の効率化、あるいは経営のノウハウ、民間のスタンドポイントによるコストダウン、収益性、といった面では確実に生きていたケースが多いと思うのです。

なので、言葉で P F I というと、あたかも民間の資本を活用して、6,000 万円ものキャッシュアップを何とか委託(することと考えがちですが)、プロデュースファイナンス的に考えれば 10 年や 20 年たったときに、もしいかなかったら(目標を達成しなかったら)責任の所在は必ずうやむやになりますよ。だから、そういうことではなくて、民間の力を借りるのだったら、そのノウハウとか、経営に関するものなどを積極的に取り入れていただきたいと思います。

言いたかったことは、ほぼそれだけなので、1 回目、2 回目とちょっと違うことを言いましたが、ゴールを共有化したいと思うのですね。

茨城県民が 280 万人いるのです。つくば市も 25 万人。人口が減少する中で、茨城の減り方はまだましなほうで、つくば市は幸運にも増えていると。この状況の中で、民間の企業でも、県とか市でもそうですが、共通のゴールをつくり、全プレイヤーに意識させるということが絶対必要じゃないですか。なので、方法論はいろいろ議論するにしても、まずどうやって最終ゴールをつくるのですかというところが一番問題になっていて。先ほどから皆さんおっしゃっている、未来の世界に継承すべきアセットとしての価値が本当にあるのかなのか、それはコストをかけてでもするのかしないのかという議論をした上で、恐らく皆さんの中に賛成論者も反対論者もいると思うのですが、それを徹底的に議論する場に協議会がなってくればいいのかというふうに思います。

○回答

ありがとうございます。毎回違う御視点から頂けると、私にとっても刺激になりますし、御意見を頂けるのはありがたく思っています。

P F I のプライベートの力というものは、私も決して過小評価しているわけではなく、決してP F I が反対だということはないのですね。民間の様々な知見から得られる、それはまさにファイナンスというよりも、その手法に学ぶところというのがあると思っていますし、実際、つくば市研究学園ではカスミさんに市の緑地を管理していただいて、今、ものすごい子どもたちがそこで遊ぶような場所に出来上がっていますので、そういう場所というのはあると思っております。

ですので、P F I のイニシアティブという言葉はどう捉えるというのはすごく大事だと思っております、それが言葉上は民間の主導のようになっていますが、そうではなくて、P F I をする際にも非常に重要なのは、パブリック側の思想だと私は思っているのです。パブリックがプライベートに対して何の知見もなく、何かやってくださいとか、あるいは、取りあえず言っておけばいいやなどということをやると、もうそこでパブリックは崩壊するわけです。そうではなく、パブリックは思想と哲学、そして経営のマインドを持った上で、プライベートと協働をしていくのが本来のP F I の形だと私は思っていますし、ファイナンスという言葉は使われていますが、それがP F I のあるべき姿なのだ（考えます）。経済学ではプリンシパル・エージェント問題と言いますが、経営に対するノウハウやファイナンスに対する知見がプライベートの方が圧倒的に高い中で、実質的にはどちらが委託者でどちらが受託者かという関係性が逆転してしまうようなことが起こったりすると思うのです。そういうことは避けなくてはいけないので、常に、主導はパブリック、つくば市が行政として持つべきところを手放さずにコミュニケーションを取っていくというのが今まで以上に必要だと思っていますし、1980年代とか、何でも新自由主義的な思想というのは、世界的な潮流から見れば、もう揺り戻しが起きています。社会連帯経済、主体的連帯経済という言葉が言われていますが、その連携の中で、それぞれの役割を果たしながら、どう持続可能な社会をつくっていくかというようところに世界はシフトしていると思っていますので、それがつくば市では目指すべき方向であると思っていますし、持続可能都市というものを目指していく中でも、この洞峰公園という一つの非常に貴重な場所は、ただの場所というよりは、市全体の学びの場で、教養の舞台になる非常に貴重なプラットフォームだと思っていますので、今、お話しいただいたことをしっかりと持ちながら、あくまでも行政がすべきことはどこなのだというのを忘れずに仕事をしていきたいと思っています。ありがとうございます。

○Cさん

今後の活用イメージのところ、いろいろ具体的に書いていただき、これからこういうふうなものを増やしていきたいとか、こういうことを整備していきたいということが結構入っていると思うのですが、一市民から、こういうことがあったらうれしいというような意見をお送りすることはできますか。つくば市の問合せのところとか。

○回答

まずはアンケートを実施しますので、そこで広く御意見を伺いたいと思っています。

まだ設問の方法とか考えていないのですが、少なくとも皆さんが自由に御意見を書ける場所、御提案を頂けるような場所というのは、当然つくるべきだと思います。全てを自由記述にするのか、多少、賛成・反対みたいなのを定量的に聞くのかはまだ考え中となり、とにかくあまり誘導的にしないようにと考えています。前回のアンケート結果からすれば、かなりの割合で賛成になるということは何となく想像ができてしまいますので、いかにニュートラルに取れるかというのを検討中です。

ですので、ぜひそのアンケートには（意見を）書いていただいて大丈夫ですし、もちろん市長へのメールなど、そういう場でもいいですし、ぜひこの場で、もし少しでも言っていたらいいならば、それでもいいかなと思います。

○Cさん

ありがとうございます。先ほどのアンケートと活用方法のところちょっと結びついていなかったの。本当に市民レベルで、北海道の公園を見る機会があったのですが、車椅子の方が車椅子に乗ったまま使える砂場とか、そういうのがあったので、実際に造るかどうとかは別にして、こういうのがあるよという話を。あったらいいなと思ったので、ちょっと聞いてみました。もちろん北海道は、土地が広いので、とにかく場所が使えるという利点があるのですが。

○回答

私はインクルーシブ遊具（の設置）を必ず入れたいなという思いを持っているのです。先日、ある方がインクルーシブ遊具で遊ぶ障害のある子どもの動画を送ってくれたのですが、その子は車椅子に乗っていて、今まではなかなか一人で遊べなかったのですが、インクルーシブ遊具で、本当に初めて一人で遊具を使って遊んで、何度も何度も遊んでいたという動画を見せてもらって、ちゃんと設計をされた遊具というのは、文字どおりインクルーシブで、障害のある子どもだけじゃなくて、障害があってもなくても楽しめるものですので、別に洞峰公園だけじゃないのですが、インクルーシブ遊具の一つの拠点にはしたいなという思いを私

は持っています。仮にこれが協議会で嫌だよとみんなが反対したら、なかなかあれですが、恐らく多くの方がそこについて理解してくれるのではないかと考えております。

○Cさん

分かりました。では、そのアンケートのときを楽しみに。

○回答

はい。どんな思いも書いていただいて。

○Cさん

それと、私はずっと洞峰公園の近くで小さい頃から育って、公園に割かれる予算の大部分を享受して大きくなったと思うのですが、今保育の仕事をしていて、洞峰公園を使わせてもらうこともあるのですが、やっぱり子どもたちにとって基本的に環境が安全であること、あと、洞峰公園の周りをぐるぐる回りながら、いろいろな鳥の声を聞いたりとか、ちょっとカモの様子を見てみたりとか、ガマのことをつついてみたりとか、そういうものもちょっとありましたが、このような体験をできる環境が本当にありがたいなと思っていて、そういう観点でも、こういうような形になって本当にありがたいなと考えております。ありがとうございます。

○回答

とても多くの方に言ってもらえるのは、やはり子どもたちにとって、ここまで安心して安全に遊べる環境が都市のど真ん中にあるというのは、この広さも相まって、極めて貴重な場所だと思います。街区にも公園はありますが、街区公園って狭いですから、少しボールを蹴ったら道路に飛び出しちゃうから遊べないとか、親が少し目を離したら道路に飛び出しちゃうなど、様々な不満、状況がありますが、この洞峰公園は、本当に閑静な住宅地の中にありながら、すばらしい自然環境があって、そして車の心配等もなく、安全に過ごすことができる環境です。そして、実際に保育所、保育士さんたちが子どもたちを連れてきてくれたりして、いろいろ触れる経験もできているという意味でも、安全性というのは、今回の位置づけの中でも非常に大きなものだと思いますので、そういう場所であり続けられるように、いろいろ議論をしていきたいと思っています。ありがとうございます。

○Dさん

五十嵐市長さん、大変ありがとうございました。それから、市と県の職員の担当の方も、休日出勤だと思われていますが、ありがとうございます。こういう市民の声を聞いていただくような機会に本当に感謝していま

す。

先ほどの方からも、ゴールを共有化したいということがありました。これは市あるいは県、市民同士の共通のゴールということもあります。今日も何度も（説明会を開催して）集まって、できるだけ市民の声を拾っていかうということだと思っていますが、それでもやっぱり来られる方が限られていると思います。今日もまだ、これだけの立派な会場ですが、席が余っているのはもったいないなと思います。これは多分、知らなくて、あるいは用事があるって来ていないなどということですが、そういう中で、できるだけ多くの市民が合意形成して、納得して、理由が分かって、何のために洞峰を守るのかと、その問題意識を共有して、生態系を守って次世代につなげるとかというような大事なことをみんなが納得して共有していくことが大事だと思います。できるだけ市民がそういうのをまとめていくということが大事だと思います。そういう観点で、協議会というのはとても大事だと思います。

協議会の構成ですが、先ほどチャート図がありましたが、いろいろな立場の方が、それぞれの立場からの意見を出し合って、多様な視点を盛り込んでいくということが大事だと思います。

そこで質問ですが、どのようにこの（協議会）メンバー構成を募っていくのか。例えば、住民団体、あるいは地域など、いろいろなアイデアを持っている方々がいらっしゃいますので、何かこういう人に聞くなどして、どのようにこういう協議会を構成していくのか、例えば公募するのか、あるいは市役所のほうから声をかけていくような形を取るか。恐らくまだ決まっていない部分もあると思うので、今の段階で分かっている範囲で教えていただければと思います。

もうひとつは、この協議会の立ち上げをいつ頃想定しているのか。9月に議会があり、そこでいろいろ決めて、10月に無償譲渡に至る。10月というひとつの（節目）期限があります。仮に無償譲渡を受けた暁にも、これからつくっていくわけですから、協議会というのは継続してやっていくものだと思います。協議会は、どのように、いつ頃結成してそして、いつまで。この協議会の成果として、どのようなものを想定していて、その成果をどのように市民と共有していくか。協議会というのは一部のメンバーでやるわけですから、市民の代表である協議会のメンバーが話し合った内容をどのように共有され、フィードバックしていくのかはとても大事なので、そのあたりの考えを、今の段階で分かれば教えていただきたいなと思います。

もうひとつはアンケートです。今回、4回説明がありますが、来ていない人が圧倒的に多いわけですから、アンケートでできるだけ（意見を）拾い上げていくわけですが、アンケートをやりますよということをしてできるだけ周知していくことが必要だと思います。ホームページをもちろん見ている人は見えますが、見えない人は見ない。ですから、積極的に市民にアンケートやりますよということをどンドン声かけをして、あ

る程度アンケートの期間を設定していく必要があるかと思います。ただし、10月に無償譲渡という期限がありますから、アンケートはもしかしたらそれまでにやっておかないと意味がないのかなという気がします。そうすると、今7月の半ばですから、そんなに時間がないですね。ですから、そのアンケートの期限やその集計結果をいつまでにまとめて、どのようにフィードバックしていくのか、そのあたりについての今の段階でのお考えを教えてくださいたいと思います。

○回答

ありがとうございます。

まず、協議会についてですが、今のところ、行政機関、学識経験者、いろいろな商工関係の皆さん、市域の住民団体の皆さん、指定管理者や区会の皆さんなど、様々な活動をされている皆さんで構成することをまず考えていますが、私も今回、説明をする中で、実はちょっと悩みが深くなっています。本当に多くの皆さんが主体的に参加をしたいという表明をしてくださっていて、この皆さんはきっと協議会に入りたいたろいな、ということなどを考えています。協議会本体をできるだけ大きくし、大きいところでは議論をし尽くさないようだったら、分科会のような形でやっていったらいいのではないのか、などのご意見をいただきましたが、本当にどういう形がいいと思われませんか。審議会とかは、基本、市民委員の割合は3割以上としていますので、市が公募することになると思いますが、参加したいと思う方が、協議会なのか、そうじゃない形でもいいのか。皆さんの熱量を受けて、何か活動ができるような枠組みを用意するのが、市の責任だなということを考えているところです。最初は、市民公募は多くてもせいぜい十数人かな、みたいなことを考えていたのですが、それではちょっと皆さんの思いを形にする場所が足りないのかな、なんて、悩んでいます。

○Dさん

開催頻度なども関係してくるかなと思います。月1回なのか2回とか、隔月なのか。それから、無制限に大勢が参加するということは、多分、收拾つかないでしょうから無理だと思いますから、話をまとめるためにある程度人数は限られてくるかと思います。

そういうときに、クローズではなくてオープンな募集の形ですね。いつ、どういうテーマで協議会をやるのか、それはある程度市民が知っていて、関心のある人がオブザーバーで参加できるとか。そうすると、都合のいいときに、そういう思いを持った人が参加できると。あるいは、どんな話合いをしているのかというのが分かると。国会でも県議会でも市議会でも傍聴ができますよね。関心があって、いろいろな価値観、やりがい、生きがいの観点から話をしていきたい、あるいは意見を伝えたいという思いを持っている方が参加できるような仕組みがあるとありがたいなと思います。

○回答

ありがとうございます。

協議会は、ある程度の意思決定をしていく場所でもあるのかなと思いますので参加者が多過ぎると、それはそれで収拾つかない気もしますが、フルオープンでやれるといいなと思います。

ただ、協議会は会社の取締役会ともちょっと違うかなと思っていて、もう少し民主的な運営をしながら、多くの声を反映させてやっていくので、洞峰公園のひとつの経営母体というか、チームのような位置づけになっていけばなと（思います）。ただ、報酬とかは発生しません。ですので、協議会自体は、私は、洞峰公園が存続する限り、存続し続けるものだと思っていますし、メンバーも1回入れ替わったりしてもいいと思っているのですが、そういう中で、例えば、ワークショップなどをやって、参加したい皆さんがそういう機会には、参加できるようにするとか、幾つかの案は多分あるのかなと思っていますが、協議会というのは、隠す話をするところではありませんので、ぜひ会議の公開をしていきたいと思っています。

アンケートについては、9月議会に出すとなると、その前にある程度のものは、まとまっている必要がありますので、少し急いでアンケートを作って、8月上旬とかに実施をして、集計をしていくくらいのスピード感がないと（できません）。9月の議会に議案を出すのは8月の下旬くらいなので、なかなかタイミング的には忙しいかなと思っていますが、そういう中でも、こういうのをやっているからぜひ教えてください、いろいろ周知をして。今回の説明会でも、全ての公園の事務所とかに説明会を開催しますよという周知をしましたが、各公園はもちろん、それ以外の場所にも案内を出すとか、いろいろな工夫をして、8月中にはある程度アンケートはまとめていくということまでしないと間に合わないなということにはちょっと思っています。

協議会の立ち上げも、公園の移管をしないとできないとか、そういう種類のものでもない、スムーズな移管をするためにも、ひょっとしたらその前に立ち上げてもいいのかもしれないと思っていますし、どういうタイミングで立ち上げるのがいいかというのは議案等とも関係してくる大きなテーマですので、議会の皆さんのいろいろな御意見等も伺いながら、それぞれの関係者の皆さんと相談をして、そう時間を経ずに立ち上げられたほうがいいなということを思っております。いつというのは、まだ明確なものは持っていませんが、移管の前というオプションもあるのかなということは思っています。

○Dさん

どうもありがとうございました。本当に合意形成がすごく大事だと思いますので。

○回答

そうですね。今日も、どちらかと言えばこの計画に反対の方から、移管の前に協議会でもっと議論すべきだという御意見を頂きましたので、そういうオプションもあるのかなと思っています。

○Eさん

どうもありがとうございます。五十嵐市長に要望と質問それぞれひとつと、県に質問がひとつあります。要望としては、協議会に関してなのですが、その中でぜひ決めていただきたいのが、筑波研究学園都市の基幹の公園である洞峰公園のありようと、先人の話と、今と、将来に向けてどうあるべきということはある程度、明文化していただきたいなという希望があります。そうすることによって、紡いでいけるというか、連携していける（と考えます）。

実は今回、（洞峰公園を整備した頃の）最初の思いというものが、ぶつりとどこかで切れてしまって、新都市のみちと公園 1964-1982 筑波研究学園都市/街路・公園緑地設計計画の記録という文献だけで残っていて、それ以上のものがなかったの、それが議会のほうにも残っていなかった。他の自治体では条例化とか、憲章という形で、貴重な施設のありようと、歴史とフューチャーを文書化しているので、それも協議会の中の一項目として、単なる運営だけではなく、残していただきたいというのが希望です。

ふたつ目は、1億5,000万という指定管理料の話がすごくされていて、価値とか費用対効果ということは、全然、議論されていないのです。これは、ちょっとインターネットで検索したりすると、ウェルネスパークのプールの指定管理料が7,100万円などというのが公開されているのです。洞峰公園規模で、あれだけの施設があって、スポーツ、部活、教育をやっていききたいとか、保育現場として使っている、そういう施設に年間1億5,000万円というのが、高いのか安いのかという。ただ、今まで県が払っていたものを市が払うのは、なんか損する気がするというのは分かるのですが、どうなのかなと。

みつつ目は県への質問です。去年の4月29日以降、突然降って湧いたグランピング、ビール工房で本当に1年間、振り回されてきました。その間に、今日、お話ししたような内容を都度、個人、グループ、小学生、中学生、お年寄りまで、何十回と県にメールしたり、電話したり、要望書を出したりしてきましたが、大井川県知事は、無償譲渡を受けなければ（PFIを）遂行すると定例記者会見でおっしゃったのです。もう一度、県と市で住民と話し合えと、市議会でも白紙撤回を希望するようなことをおっしゃっている市議の方がいるし、市民の方でもいらっしゃいました。去年もずっと言ってきたのですが、公園の価値の議論とか、協議会とか、教育現場としてのありようと、全てを今いらっしゃる方々は、もう一度引き受けて、話合いに応じて、公・民として受け止めて、公園をよりよくして行って。もちろん私たち、儲けることに反対とは言っ

ていないのですよ。儲け方に問題があると最初から言っているのですが、最初の時点で、何でもいいから儲けろと県に言われたと、面と向かって業者に言われたのですね。マーケティングやっていますか、儲からなかったらどうするのですかと聞いたら、マーケティングはやっていません、儲からなかったらあの手この手で何でもやれと言われてますと、業者に面と向かって言われて。そこから、今日、五十嵐市長が示してくださったような、地域やまちと都市の在り方とか、つくば全体、茨城全体を見て、この国が造った公園とか、まちの中での位置づけというのを議論してやってくださいますかということを知りたいです。やってくれるのだったら、議論をまた再燃する価値もありますが、そうでなかったら、またそこに戻るということは、私たち県民は非常に疲弊してしまうので、こうやって県はやってくれますかという質問に対して、イエス・オア・ノーで答えていただきたいのです。以上です。

○回答

まず1つ目のお話の言語化というのは、非常に重要なことだと思っています。洞峰公園の話は、例えば時の市長が誰だとかで変わっていいものではないと思うのですね。洞峰公園は、放っておいて今の形になったわけではなくて、きちんと思想を持って意図的にこのような環境を守り、調査を続けられて、そして、県が一生懸命管理をしてくれて今に至っている場所ですので、それが筑波研究学園都市という骨格、あるいはつくば市の中で、どういう価値を持つ場所なのかということも、みんなで共有をするという意味でも、言語化、あるいは憲章の形など、何かまた別の方法かもしれませんが、そういうものによって揺らがないものをつくっていくと（考えています）。もし将来的にまた民営化の波みたいなものが来て、洞峰公園を売ってしまえ、みたいな話になったとしても、洞峰公園は違いますと、なぜなら先人たちの思想と努力の積み上げによって維持されてきたものです、我々はそれをよりよい形で次につなげなくてはいけない、などということ言語化することは必要だと思いますので、そういうものも、ぜひ協議会で議論をしたいと思います。

お話のあった非経済的な部分の可視化ということは、なかなか難しいですが、おっしゃるとおり、本当に洞峰公園には、様々な価値があると思うのです。だからこそ、1,000人以上の方がアンケートに思いをお寄せいただいています。逆に、その金額である価値が守れるのであれば、本当に費用対効果としては高いものだという事を思っています。私は、本当に、削減する予算は、2万円でも3万円でも、不要なものは不要という話をしていますし、来年度予算の話をしている中でも、私も副市長もそういう確認をしています。

そういう中で、今、最大で見積もった金額ですが、その価値があるかどうかについて、私は十分にあると考えておりますが、それをただの表面的な数字で終わらせないような努力をしたいですね。保育士さんたちが子どもたちを連れてきてくれて、子どもたちがそこでどんな感性を磨いていくとか、高齢の方が毎日集まっ

て、そこで団らんをしたり、あるいは朝からラジオ体操をすることで健康になっていたり、本当に様々なことが行われている場所ですので、その価値をどう、ちゃんと伝えていくかという。これは何十億円ありますみたいなことは、示し方のひとつとしてはあるかもしれませんが、そういうこともひとつの宿題として考えたいなということは思います。

3点目の御質問は、なかなか難しいかなと。これは例えば、職員ごとにかなり意思を持っていますが、県には県知事という首長がいますので、その意思がどうかというのも、なかなか担当の方でも明確に答えるのは難しいような気がします。

○回答（茨城県）

イエス・ノーでということでお答えして欲しいということだと、なかなか。私個人で言えば、洞峰公園をまとめる話に興味がありまして、ずっと横でその話を当時の担当から聞きながら、去年1年間いろいろ見てきたので、自分なりに理解しているつもりであります。4月から茨城県都市整備課の課長として私が就任した頃にはもう移管を前提ということで、いろいろな準備を始めた時期でございますので、基本的には、まず移管をしていくということに今、注力しています。私、個人の感想であります。今日、一日御一緒させていただいて、皆さんの御意見を聞くというこの機会が非常に有意義だったというふうに思っています。洞峰公園だけじゃなくて、全ての公園を対象に、管理の在り方を見直そうとしています。まず、第1弾として偕楽園でPark-PFIをやりました。その第2弾として洞峰公園をやりたいのですが、こういう経過をたどって今に至っています。それは一つの大きな成果というか、結論だったと思います。これまでの経緯を踏まえて、やはり議論を重ねていく重要性というのは、当たり前なのですが、そこはすごく分かった気がします。今日一日だけでも、これだけ重く受け止めなきゃいけないことが多々あったと思っています。これから人口減少社会になりますので、公園だけでなく、いろいろなインフラとかのこれからの管理の在り方を考える中で、コストを縮減しつつ収入を確保していくことも、考えていくことの一つだと思っています。そういった中でひとつずつ、まだ手探りの状況でございますので、皆様のこういった御意見というのが非常に貴重です。それをちゃんとこれからも確認して、やっていきたいと思っています。当たり前のことですが、対話は大事だと思っています。それは、これからほかの公園についても留意しながらやらせていただきたいと思います。

○Eさん

ありがとうございます。

事情は分かりませんが、去年は、本当に対話はありませんでしたので、ぜひほかの公園の見直しの際には、

100・0ではなくて双方、歩み寄っていただきたい。だから、私たち側から協議会を持って欲しいとか、説明会をして欲しいということで話をしてきましたが、残念ながら去年は、決まったことということだったので。ぜひ他の自治体では、そうしていただきたいと思います。

○回答（茨城県）

ありがとうございます。今の御意見を胸に刻んで、これからいろいろな公園がこういう議論を経て、どういう形が地域にとって一番望ましいか、それが結果的に我々にとってプラスになるようなことにつなげていきたいと思います。

○Eさん

ぜひ、そうしていただきたいと思います。県の御事情も説明していただいて、上下関係ではなく、対等な関係でお話しさせていただくような機会を設けていただきたいと思います。最初に協議会と申し上げたのは、そもそも都市公園法運用指針に書いてあったからで、やってもらえるものだと思って要望しました。国土交通省の担当課にも電話しましたが、（協議会を立ち上げるのは）望ましいという状況で、やるかやらないかは自治体の裁量だとおっしゃった。なので、私たちは本当に茨城県に期待をして、いろいろアプローチをしてきました。最終的には、無償譲渡というのが県の結論なのでしょうが、その結果として、県の行政の方々がそういう感想を持ってくださったならば、次につながったと思います。決してつくばの市街地の住民は、茨城県に敵対心を持っているわけではないので、ぜひ大井川知事にも、譲渡が完了した暁には来ていただきたいです。お伝えいただければと思います。

○回答（茨城県）

分かりました。知事に伝えておきます。

○Fさん

今日はこのような場をつくっていただいて、県の方と、五十嵐市長をはじめ、すごく御丁寧な話をされているということで、ありがとうございます。土日とかになると無理なのですが、県から洞峰公園をよろしく願いいたします。すみません。失礼します。

○回答

ありがとうございました。

今、茨城県都市整備課長がおっしゃってくださったことは、私は、すごくうれしく思いましたが、我々のこの経験とかプロセスは、きっと価値があったのだろうなと思いますし、これからいろいろなところでやられ

ていく際にも、きっといい形に。もちろんそれは、当然トップの意向というのは、強く働くとは思いますが、そうであっても、こうやって肌感覚として、県の人たちが本当に朝からずっと付き合ってくださいって感じてくださったというのは、すごくありがたいですし、本当に今こうやって横に並んでお話ししていただきましたが、これも本当に鈴木県議がいろいろな調整をしてくれて、ここに至ったわけですが、そういう関係性の中で、いろいろな事業をする上で、これからもいろいろと意見を頂きたいと思います。よろしく願います。ありがとうございます。

もう時間が過ぎてしまいましたが、まだの方いらっしゃれば。

○Gさん

荃崎に住んでいる者です。今日、荃崎ということで、せっかくなので話をしたいと思います。

私は、御存じかもしれませんが、SNSでかなりいろいろなことを発信している森の里の住人ですが、今回のこの洞峰公園の一連の流れをSNSの立場から見ている、つくば市の恐らく24万人のうちのトップテンくらい見ているのではないかなというくらい見えています。

そういう中で気になったのは、つくば市とかという話じゃなくて、ここにいる方だとしたら気分を害する方もいるかもしれないので、あらかじめお断りしますが、洞峰公園に来ないのだったら意見を言うなという意見がSNS上で、実際に私への返信で何回もありました。ダイレクトメールもありました。今回の洞峰公園だけじゃないのですが、洞峰公園、近隣の方だけのものでは、当然ない、これは皆さん御存じだと思うのですが、もっと言うと、つくば市民のものでもないわけですね、現状は。私も県外にたくさん友達がいて、ひとりですが、なんか私物化していないかという話を、例えば大子町の人とか、いろいろな笠間とか、そういう知り合いから聞くのですよ。もちろん、私も洞峰公園、私、昭和58年から荃崎に親の時代から住んでいますので、それで、つくば市内だけで倉掛、梅園、城山、4か所住んでいるのですね。ですから、いろいろなところに住んでいるのですよ。決して荃崎が云々という話ではないのですが、何となくこの一連の流れで感じたのは、洞峰公園は近隣市民が愛しているのだからという言葉がたくさん聞いたのですね。もちろん愛しているのだと思うのですよ。それは、素晴らしいことだと思います。洞峰公園、自分のまちを愛する、素晴らしいことだと思うのですが、近隣じゃない人も愛していただきたい。もっと言うと、あまり関心は、残念ながら、残念でもないのですが、ない方も、今日、ここ荃崎でやっているのですが、ほぼいないのですよ。荃崎の方、何名もいないと思います、実際に。多分10人はいないと思います。さっき、名簿で住所だけ見たのですが、私の段階で2人くらいしかいなかったかなと思います。それもまたひとつの現実なので、それ

は全然、構わないと思うのですが。あえてここで言わせていただくと、我々もつくば市民だから、洞峰公園を利用する、しないにかかわらず、言う権利は当然あります。反対でも賛成でも。私は洞峰公園、今のままで全然十分だと思いますし、グランピングとかは全然必要ないと思う派ではあります。ありますが、あってもいいではないかという意見に対して、すごく攻撃的に、たたきのめすみたいな意見を残念ながら見るのですね。これは市長たち、市の問題ではないのですが、こういうことをやられてしまうと、うちらとしては、うちらというか、私、荃崎の一市民として、正直、あまりどっちでもいいのだが、我々、除外されていないって感じるわけです。そうすると、いいものもいといえなくなってしまいます。さっき何名かの方が、ゴールを共有化するみたいなことをおっしゃっていました。やっぱり市民で意思を共有していこう、洞峰公園はこうしよう、みんなで決めていこう、素晴らしいことだと思います。であるならば、使う、使わない、ではなく、僕は昭和 58 年から、遠足で使っていたな、高校時代はあそこで 15 キロマラソンしたなとか思い出があって、なので、こうしたいな、ああしたいなと言ったときに、あなたは、遠いのだからいらないでしょう、意見、という感じの空気を、ぜひ、市民に出さないでいただけるとありがたいなというのを感じています。今日も始まる時にすごく不愉快だったのは、荃崎でやります、今日この立派な施設ですが、何人もいないですね。それはそうですよ。だって、当日まで案内しないのですもの、SNS で。全然リアルじゃない。私、朝、今日、72 回 SNS しました。それで市民の方が、13 時 30 分くらいかな、それで説明会やりました。その程度ですよ。本当に市民に聞いてほしいのであれば、何で前日とか、1 週間前とか、そういう知ってもらおう努力をしなかったのかなというのは。それで、来て、人がいないですね、あはははは、と、みんなで笑っているのですよ。あり得ないですよ、そんなの。私からすれば、いやいやいや、来てって、しかも 18 時半ですよ。18 時半って、若い方、私より先輩方がたくさんいますが、森の里に住んでいれば、もう 18 時半ではお風呂に入っちゃう時間です、御飯食べて。そういう時間に来ましょうって言っても、それは難しいですよ。ですから、そういうのも含めて、本当に参加していただきたかったのかな、この場に。荃崎の方に、もっと洞峰公園の素晴らしい環境を維持していきましょうよと説明したかったのかなという、ちょっと疑問を感じざるを得ないという感じですので、市長とか、市もそうですし、県もそうですし、洞峰公園を愛している方がものすごくいて、ぜひ、愛していない方に愛してもらうようにするには、どうしたらいいかを考えていただきたいなど。

愛している人には、今日の説明要らないのですよ。だって、みんな知っていますもの。洞峰公園こんな素晴らしいですよ。今日、3 回来ている方なんてたくさんいますし、みんな知っています。問題は、興味がない人に、ああ、それだったら年間、1 億 5,000 万使ってもいいですよと、うんうんと言ってもらおうほうが、

僕は大事なんじゃないかなと思うのですね。興味がある人を大事にしましょう、洞峰公園を守りましょうという人は、多分、説明会しなくても守ろうとする努力を、今までももちろん苦労されていると思うのですが、していない方に、1億5,000万円、2億円、3億円出しても、ああ、いいのではないか、洞峰公園、それできれいに維持できる、生態系も保たれるのだったら、いいのではないかという方にぜひ注力していただきたい。それは、市長とか市だけじゃなくて、洞峰公園を愛する人にこそやっていただきたいなというのが私の思いでございます。すみません。

○回答

ありがとうございます。

周知はできるだけ、やっぱりしたいと思って、恐らくSNSも、以前にも周知は市の公式でもしていたという認識はありますが、もっと頻繁に出すことは、言われてみればおっしゃるとおりだと思いますので、それでもなかなか来られない方もいらっしゃると思いますので、先ほどもお話がありましたが、やはりアンケートなどでは広く周知をして、それでも知らなかったという方、届け切れないところがあることは、いろいろなことで感じますが、できるだけ、今、お話しいただいたような、知らなかったということがないようにしたいなと思っています。

今、そういうふうになんか分断的な形で、少し攻撃的な形でメッセージがもし行ったのであれば、それは非常に申し訳なく思います。何をやるにしても、それぞれの人に正義があると思いますし、強い思いがあればあるほど主張も強くなると思うのですが、だからといって、私はそれを他者への攻撃とか排除の方向にしては絶対いけないと思っていますので、今のお話、本当に申し訳ないですし、残念な気持ちも正直持ちました。だからこそ、こういう対話の機会が必要だと思っています。先ほども膝を突き合わせればというお話もありましたが、私も今日初めてお会いできて、とてもうれしく思いますし、SNS上で取っているコミュニケーションとリアルでのコミュニケーションというのは、やっぱり質も違うと思いますし、今、いろいろ御提案していただいていたたり、問題提起をいただいて、本当におっしゃるとおりだなと思うところが非常にたくさんありますので、そういう意味でも、市としての周知をいろいろな形で努力して、できるだけこういう場にたくさんの方が来ていただけるように、もっと努力をしなくちゃいけないし、同時に、前に進んでいくために、誰かを排除しながら進むということはあってはいけないと思っていますので、荃崎にお住まいの方も、俺のほうに関係ないとか、或いは、お前、遠いのだから黙っていろ、なんていうことを決して言わないようなまちをつくっていく必要があると改めて強く思いましたし、そのためにも、分断ではなくて、今日も各説明会で、もちろん反対されている方もいらっしゃるのですが、反対されている方にも、とにかく発言

の機会を希望されれば、最後まで用意するというようなことで、そういう反対の意見からも学ぶことは当然ありますので、その積み重ねが市の事業となって、結果としてまちをつくっていくと思いますので。すみません、時間帯等、北から順番に、逆でも別にあれですが、結果として皆さんが来づらい時間になってしまったのであれば、本当に申し訳ないと思いますが、今後のいろいろな運営の参考にさせていただきたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。

時間がもう過ぎておりますが、まだ発言されていない方いらっしゃいますか。

○Hさん

県の大塚さんに聞きたいのですが、まず、昨年の説明の段階で、県の資料見ますと、洞峰公園問題というのは、維持管理に1年間、1.5億円かかると。半分が建物で、半分が緑地だと建物の管理費が7,500万、緑地の管理が7,500万、それで業務の委託によって6,000万くらいの利益が出るので、9,000万。それで、年間9,000万円は県に出してもらおうと。それで、つくば市の負担が減るわけですね。このいわゆる6,000万円を得るためのPFIの施設がグランピング、洞峰公園がちょっと変わるわけですが、それ以外は全く変わらないわけですね。変わる部分の大部分は、あまり使われていない野球場であって、野球場はあまり自然価値ないのですよ。砂漠と一緒にすから。だから、多分、環境には影響がないんじゃないですかと、そういった県の考え方だと思うのですが。

まず、これは県に確認なのですが。本当の当時の県の考え方はどうだったのか、県の方針を確認したいのですが、それは間違いはないのですか。

○回答（茨城県）

はい。

○Hさん

分かりました。

もうひとつは、代替案として値上げするという話。それ、五十嵐さんのお話ですと、つくば市が出したのではなくて、県が代替案として、PFI施設をつくらないのであれば、値上げしなければならないという代替案を県が出したのだということなのですが、もしそうだとすれば、アンケートの結果で、値上げをしても、やはりPFIをやめて欲しいと、洞峰公園の現状を変えてほしくないのだというのがあったなら、なぜ値上げでは駄目なのだと、やっぱりPFIを造るのだと言ったのが、本当にそうなのかなという気がするのですが、それは間違いはないのでしょうか。

○回答（茨城県）

値上げをすればよかったのではないのでしょうかということでしょうか。

○Hさん

代替案の値上げというのは、県が最初に代替案として出したものなのか、それとも、つくば市のほうから代替案として出したものなのか、どちらかということを知りたいです。

○回答（茨城県）

うちのほうから、Park-PFI をやらないと言えば、先ほど言った 6,000 万という、1.5 億と 9,000 万ですか、その割合で、仮にその分だけを値上げしたとすればという仮定で、うちのほうで御提案させていただいたということです。

○Hさん

例えば、使っている人たちが値上げしてもいいですよと言って、県がこういう現状を変えなければ、それもアリだったということですか。

○回答（茨城県）

全てがそれだけで、例えば施設を使っている方と使っていない方がいらっしゃる、ふだん使いされるという方もいらっしゃるの、その意向というのは十分把握できていないので、当然そこら辺をちゃんと総合して考えるべき問題だと思っていましたので、そのやっぱりバランスというものがあります。

○Hさん

分かりました。

それと、もう 1 点なのですが、今日の 2 回目の説明の中で、7 月 31 日の全員協議会で、売却、洞峰公園を売ってしまうと言ったことがあるのではないかと話に対して、それは売却するかどうかは議会の判断だというふうにおっしゃいましたよね。

○回答（茨城県）

私ですか。

○Hさん

ごめんなさい。

○回答

違いますね。調査対象に洞峰公園が入るか入らないか。議会の特別委員会で洞峰公園を調査するかどうか

が議会の判断で、売却ではないです。

○Hさん

そうですか。

○回答

はい。

○Hさん

売却するかどうかは議会の判断だということになると。

○回答

いえ、そういうふうにはおっしゃっていません。

○回答（茨城県）

それは、ありません。

○Hさん

分かりました。では、結構です。どうもありがとうございます。

○Iさん

どうもありがとうございます。まず、県の土木部都市局の都市整備課の大塚課長、どうもありがとうございました。自らマイクを取っていただいて、答えなくてもいいようなタイミングなのに、答えてくださったということは本当に分かりました。去年の県の対応と全然違うなということを感じました。ありがとうございます。それがひとつです。

それから、森の里の方、先ほど発言されたこと、共通しています。ありがとうございました。私は洞峰公園を愛する者ですが、でも、一部の人の公園ではないです、もちろん、洞峰公園は。みんなの公園だと思います。だが、やっぱりアクセスというか、知らない人も、機会がなかったとか、そういう方もいらっしゃるかと思うのですが、できるだけ、みんなやっぱり多少距離は違うが、アクセスできるわけですから、こうやって私たちも来られるし、車で動けるわけですから、行く気になれば。ただ、そういう機会がないことや、関心がなかったということですから、どんどん、どんどん広めていって、これからみんなで価値をつくっていくということですから、こんなにいろいろ、人生にとっても、子どもたちの教育にとっても、自分自身にとっても意味があるのだということを経験できていければ、自分からアクセスしていく方は増えてくると思うのですよ。そのような形で、みんながつくっていくということで、立場が違ったりするが、同じ市民同士

ですから、みんなが協力しながら分かり合っていくことが大事なのだと思います。そういう意味では、同じ思いだということをおもいました。

それから、最後にひとつ提案なのですが、生態系を学ぶ拠点ということは本当に大事なことだと思います。それは、子どもたちにとっても。それと併せて、自分のことも含めて思ったのは、自分でもそういうことを勉強して、案内ができるというのは、いいなと思って、そういう自然観察のガイドを養成するような講座を専門家の方にやっていただいて、学んだ人がそれを子どもたちに伝える。それも無料で、ボランティアで。経費削減になりますよ。私なんてボランティア出たいです。もう定年退職してフリーですから、動けます。そういう形の工夫もできると思いますが、何が言いたいかという、同じ市民同士、仲間ですから、みんなが価値を共有して、自分の人生の生きがい、あるいは生きがいにつなげていくような形で、みんなの声をまとめていくようなこと、これが大切なことだと思います。以上です。どうもありがとうございました。

○回答

ありがとうございました。

本当におっしゃるとおりで、法律上みんなの公園なので、近隣の方だけでなく、近隣の方以外のものでもあり、筑波山のほうに住んでいる方のものでもあり、荃崎に住んでいる方のものでもあるというのが洞峰公園という公園の位置づけですので、そういうことも含めて、本当にいろいろな方がいろいろな関わり方をし、そして今のように次の世代に伝えていくような、今の御提案は素晴らしいと思って、ぜひ、そういう枠組みがどんどんできていって循環をしていけばいいと思っています。

スーパーシティという市の施策の中で、宝陽台がモデル地区になっているのですが、ここでは、スマホ教室とか、最初は、学生さんとか事業者の皆さんにやっていただいたのですが、そこで学んだ方が、今は、宝陽台の住民の方がスマホを教える人になっていただいて、地区の方に教えてくれているというような流れができてきていますので、本当にいろいろな方が関わっていくような循環をつくっていくということも、大きな経営的な視点として重要だと思いますので、そういったことをしっかり留意しながら取組を進めたいと思います。

○Jさん

先ほど、県の方に対する質問の中で、五十嵐さんにひとつお伺いしたいことが。

○回答

では、これで最後でよろしいですか。

○Jさん

お願いします。

○回答

はい。

○Jさん

先ほど、ここでの議論で1億5,000万円を年間に負担すると、無償譲渡で1億5,000万円を負担するということありきで、協議会なんかで、今後、公園の在り方とかいろいろ、考えていらっしゃるということが議論をされてきたのですが、それはそれでひとつ大切なことだし、公園を守るための方法だとは思いますが。ただ、1億5,000万円という年間の費用は少なくないのですよね。いろいろな人が、市民の方大勢いますから、それに1億5,000万を使うのだったら、もっとこういうことに使ってほしいという人は、山ほどいるわけですね。今まで私、言いませんでしたが、つい最近、高エネ研の南未利用地も、年間の負担が3,000万円です。その5倍ですよ、1億5,000万円というのは。あの3,000万の支払いがもったいないということで、民間企業に一括売却されてしまって、10月から、70年も手つかずの森が、抜根伐採されて裸地になっちゃうかもしれないのです。そういう意見もあるわけです。ただ、そのところの問題は結びつきませんが、どちらにしろ、不毛な議論になってしまいますので。ただ、先ほど県の方がおっしゃっていたことが、現在も昨年5月と変わらないのであれば、この6,000万のお金ですよ、結局は。その6,000万をつくば市が全部持ちましようと言え、1億5,000万出さなくても、6,000万円で全く今の公園の状態が保てるわけです。さらに、その6,000万円、PFIの中でも、皆さんが嫌っておられるお酒を出す施設だとか、グランピングだとか、そういうものって6,000万じゃないと思うのですよ、恐らく。そこは工夫次第で、例えば緑地の管理を、前の方も言いましたが、つくば市が管理しましよう、自然公園として管理するのだったら、もしかしたら、私が聞いた業者だったら1,000万でいいよと言っていました。それはちょっと極端だと思いますので、例えば2,000万で緑地の管理をすれば、茨城県の7,500万円は要らなくなるわけですね。それで2,000万で自然公園の管理ができて、多分、確実に洞峰公園の鳥の数とか虫の数、とんぼの数が増えると思うのですよね。自然公園としての評価も高くなるので、本当にこの1億5,000万というのが必要なのか。これを支出して無償譲渡を受けないと、ほかに洞峰公園を守る方法はないのだろうかということをもう一度よく考える必要があるんじゃないかと思います。以上です。

○回答

ありがとうございます。

先ほどもお答えをしましたが、ここに至るまで、県との様々な話をしてきました。俎上に上がる前から、県

の皆さんといろいろな交渉やお話をしてきましたし、なつてからもしてきました。その中で代替案の今あったようなお話もしてきましたが、これまで説明会に参加されている方は、前回もお話しされているとおりですが、やはり、そこについては、残念ながらゼロか百かということで、今まで来て、今に至るという状況があるので、それは代替案の値上げも駄目だったろうし、仮にそこで市がお金を出すと言っても、恐らくそれは同じような方向性になると思いますので。そうではなくて、過去の経緯は過去の経緯として、今、課長が自らマイクを取ってくださって、御自分の言葉でお話ししていただくというような状況になって、市と県の関係性は極めて建設的なものになっていくと思いますので、そういう状況の中で、〇〇さんが御提案になっているように、管理の仕方も工夫して、できるだけ縮減をしながら、いい公園を私としては造っていきたくと。

そして、優先順位については、確かにここで1億5,000万という数字の議論が強調されていますが、当然のことですが、もっと大事なことがあるだろうと言う方もいれば、むしろ1億5,000万じゃなくてもっと投資をしても守るべきだろうという、本当にたくさんいらっしゃいます。そして、市政の中では重要な課題が数多くあって、最終的には、それも全員の意見を完全に聞いて全員が納得する解を見つけることが今の地球上には制度として存在しないので、民主主義という制度になっていますね。その中で、それを市民代表として議会があって、市がいろいろな対話の中から考えた予算配分を議会に提示をして、議会で過半数を得られれば可決をされると、過半数が得られなければ否決をされてその事業はできないという、そういうプロセスを踏んでいると思っています。ですので、だからといって、議会に何でもかんでもすぐにかけるというのではなくて、こういう対話を通じながら、できるだけのことをやって、市民の思いや優先順位や考えを行政としても整理をした上で、できるだけそれが市民の皆さんに御理解されるような形に提案を持っていくというのが私の仕事だと思っていますので、私はこれまでのプロセスを含めて考えれば、もう一度、白紙にするのではなくて、このまま進めていくということが、今日、3回説明会をやらせていただきましたが、改めて非常に強く思いをしたところであります。今後、アンケート等を行って、そういった御意見を踏まえながら、協議会がどういう形でできるかということも含めて考えていきたいと思いますが、〇〇さんに御提案いただいたような内容も、協議会の中でいろいろ、話をしながら、進めていきたいと思っていますので。

○Jさん

建物の7,500万は安くならないのですか。あの建物の費用は安くならなくて、あの建物は、龍ヶ崎とか、牛久とか、結構、いろいろなところからプールには来ている人がいます。ですから、あの建物は、つくば市を越えて、もっと広域的な意味がありますので、果たして、あれが（洞峰公園の建物）つくば市で維持管理

をしなければならないのかということ、非常に疑問があると思います。

○回答

料金のつくり方とかも、それもいろいろな御意見を頂きながらだと思えますが、実際、市の施設では、市民と市外の方との意見が、料金の差をなんでつけないのだというお声もたくさん頂いたりもしますし、それは当然、そういうところも議論の俎上には載ってくるころだと思えます。ただ、細かい話になります。

○Jさん

いわゆる庭園公園とするのか、自然公園とするのかというのは非常に重要な問題だし、五十嵐さんもイギリスに留学されたから御存じだと思うのですが、ロンドンのハイドパークだとかグリニッジパークあたりは、庭園公園にはしていません。自然公園です、あれは。草は刈りっぱなしですし、樹木は間伐で、枝や何かは、全部敷地内で処理しています。それで、野鳥のサンクチュアリを設けて、そこだけは手を加えないと。それで、鳥の数も非常に多いです、虫の数も非常に多いです。それに比べて、洞峰公園は中途半端で、偕楽園とか兼六園でもこういうふうにやっていますから、ああいうふうに自然が非常にプアです。ですから、もっと議論をして、みんなで考えれば、もっといい方法があるのです。

○回答

みんながいい場所にしていくために、この協議会をいい場所にしていきたいと思っています。ということで、すみません。30分オーバーしてしまいましたが、本当に数多くの御意見を頂きまして、ありがとうございます。まだ説明会、後、1回あるのですが、本当に今日、皆さんにいろいろ、頂いた御意見を、多くもらうことができましたし、今日、頂いた御意見を踏まえて、またいろいろと議会の皆さんと御相談をしたり、県の皆さんと御相談をしたりしたいと思います。

まずは、3か所御参加いただいた県のお三方本当にありがとうございました。そして、本当に多くの皆様に御参加いただいたことにお礼を申し上げます。ぜひ、本当にみんながいい場所をつくっていききたいと思えますので、これからもよろしく願いいたします。本当にありがとうございました。

○司会

皆さん、貴重な御意見を頂きまして、ありがとうございました。以上をもちまして、洞峰公園の無償譲渡についての説明会を閉会とさせていただきます。皆様、本日はありがとうございました。